

ギャツプイヤー制度の提案

FutureDesignプログラム E班 補足資料

TABLE OF CONTENTS

01	制度提案の背景と目的-----	p3
02	課題の特定-----	p4~6
03	提案の実施計画（案）-----	p7
04	事例の紹介-----	p8
05	リスクと課題-----	p9
06	課題への対策-----	p10

01

制度提案の背景と目的

[背景]

日本では高校から大学へ直接進学し、卒業後すぐに就職するという一般的な進路が定着しており、学生が自由に時間を使って経験を積む機会が限られています。そのため、学業と実社会を結びつける時間的余裕を提供する仕組みが求められています。特に、海外留学、インターンシップ、ボランティア活動、または自己探求の時間を持つことで、学生が視野を広げると同時に、社会的価値を生む経験をする可能性があります。

[目的と重要性]

ギャップイヤー制度の目的は、学生が学業の枠を超えた経験を通じて自己成長を遂げるとともに、インターンシップやボランティア活動、海外留学などを通じて社会に貢献する機会を提供することです。その重要性として、学生個人が視野を広げ、主体性や社会的価値観を育むだけでなく、大学としても教育の多様性や支援体制を強化することで、他大学との差別化を実現し、国内外での評価向上や広報効果につなげる点が挙げられます。

02

課題の特定

[現在の課題や問題点]

学生には時間がない！

学生は、各学部のカリキュラムに加えて、その他の活動などで時間が圧迫され、学業以外の経験を積む余裕がありません。このため、自己成長やキャリアに有益な活動に割ける時間が限られているのが現状です。

休学制度の柔軟性の低さ

現在の休学制度は手続きが煩雑となっています。さらに、休学中の学費負担や、休学へのマイナスイメージが学生の不安を生み、制度利用の障壁となっている可能性があります。

教育の柔軟性

学部ごとに専門性が高いため、学生が卒業後に異なる分野で仕事をしたいと考えた際に、必要な知識を新たに学ぶことが難しい状況です。

02 課題の特定

現在の休学制度

- ・病気その他やむを得ない理由で、就学できないときは休学することができます。
- 休学を希望するときは「休学願」（窓口備付）を次の窓口を通じて学部長に提出し、許可を得なければなりません。
- ・健康上の理由や、兵役による休学の場合は、医師の診断書や証明書が必要です。
 - ・休学できる期間は当該学期末（9月20日又は3月31日）までとなっています。したがって引き続き休学を翌学期に延長するときは、休学期間中の所定期間内に手続きが必要です。この手続きを行わなかったときは、休学中の学期末をもって退学となりますので、特に注意してください。
 - ・休学できる期間は、通算して4学期以内となっています。
 - ・在学期間に算入されない学期が通算して4学期を超えるときは、休学を許可しません。

02

課題の特定

■ 手続期間と学費

休学(初めての場合)

手続期間		所定の学費
春学期	秋学期	
5 / 31 まで	10 / 31 まで	休学在籍料(60,000円)
6 / 1 ~ 7 / 30	11 / 1 ~ 1 / 30	当該学期の学費

休学(継続する場合)

手続期間		所定の学費
春学期	秋学期	
3 / 1 ~ 3 / 14	8 / 28 ~ 9 / 10	休学在籍料(60,000円)

復学

手続期間	
春学期	秋学期
3 / 1 ~ 3 / 14	8 / 28 ~ 9 / 10

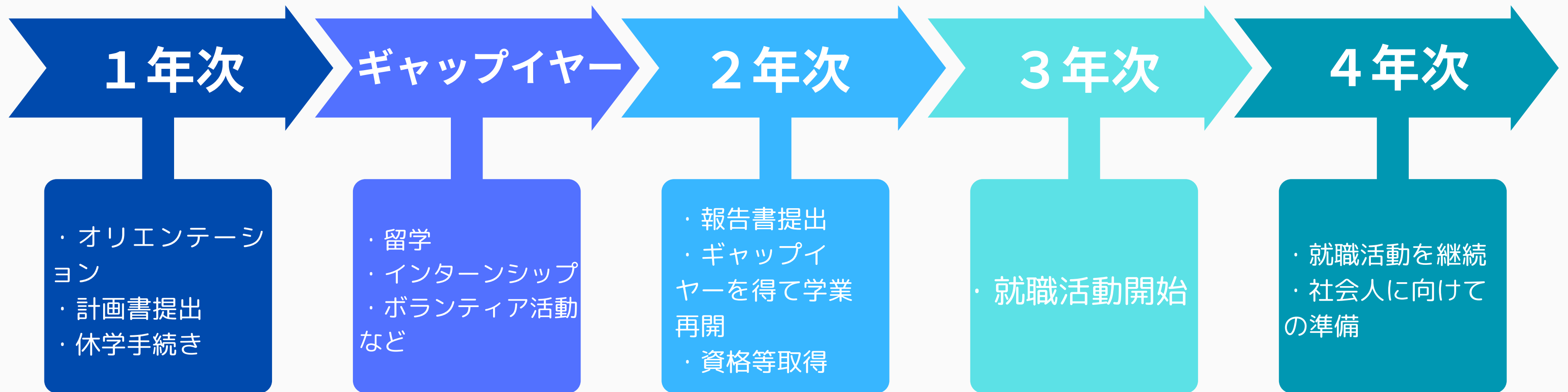
※各学期とも、上記手続期間以降は休学・復学することはできません。

※期日までに休学願を提出し、許可された場合であっても、休学願の提出時期によっては、一旦、学費全額が引き落とされることがあります。

その場合は、後日、休学在籍料60,000円を差し引いた金額を学費引落口座に返金いたします。

03 提案の実施計画（案）

[ギャップイヤー制度 利用の際の流れ]



04 事例の紹介

海外の事例

AUS:シドニー大学

高校卒業後の学習意欲とその成績の関係調査（250人）

ギャップイヤー経験大学生 > 未経験大学生

- ①就学後のモチベーション②企画力③忍耐力④適応能力
⑤時間管理能力がいずれも高いことを統計的に立証。

USA：ミドルベリーカレッジ

ギャップイヤーを取った学生は、良い成績を取る傾向にあり、今後の人生をどうしていきたいか目的意識を持っているという調査結果。

その他：ノースカロライナ大学チャペルヒル校、ニューヨーク大学、プリンストン大学、ハーバード大学、ラング・カレッジ

日本の事例

FLY Program | 東京大学

入学したばかりの学部学生が申請し1年間の特別休学期間を取得できる仕組み。

ギャップイヤー入試 | 国際教養大学

高校卒業後にギャップイヤーを活用できる「ギャップイヤー入試」を導入。この入試制度は、ボランティアやインターンシップなどの活動を通じて、能動的かつ主体的に成長を目指す学生を対象。

ギャップイヤープログラム | 小樽商科大学

入学前に国内外の大学で一定期間学習する機会を提供しているのが特徴。プログラム参加者は、派遣先の大学で語学の授業や専門科目を履修し、授業料や滞在費を補助する返還不要の奨学金が支給される。

05

リスクと課題

1

金銭的負担

2

保護者の不安

3

目的がないと時間が無駄に

06

課題への対策

金銭的負担

- 奨学金制度の充実: 学生に奨学金での資金支援を強化。
- 短期プログラムの提供: 活動期間を短縮し、費用を抑えられる選択肢を用意。

保護者の不安

- オンライン説明会の実施: 忙しい保護者も参加しやすい環境で安心を提供。
- 進捗共有システム: 活動報告書を基に保護者が簡単に確認できる仕組みを構築。

目的がないと時間が無駄になる

- 既存プログラムの活用: 大学や提携機関が提供する既存のプログラム（留学、ボランティア、インターンなど）を積極的に紹介。
- 成果の見える化: ポートフォリオや活動報告書を通じて成果を明確化し、時間の使い方の価値を実感させる。